

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理部長 (氏名) 松本 俊二 (TEL) 03-5275-0580
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,588	15.9	△93	—	△137	—	△100	—
26年3月期第2四半期	4,821	△0.7	△123	—	△59	—	△13	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △289百万円(—%) 26年3月期第2四半期 146百万円(51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.48	—
26年3月期第2四半期	△1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,926	5,174	28.3
26年3月期	13,908	4,213	29.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,223百万円 26年3月期 4,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,120	20.6	230	—	210	436.6	145	—	13.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 極楽湯中国控股有限公司、除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	13,215,600株	26年3月期	11,728,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	917,675株	26年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	11,791,591株	26年3月期2Q	9,611,620株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動による減速から一部回復の兆しは見られたものの、その拡がりは限定的であり、原材料・エネルギーなどの諸コストの上昇に加え、更なる消費税増税の議論が本格化するなど先行き不透明な状況が続いております。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、ガソリンの値上がりなどにより「安・近・短」の手軽なレジャーを見直す動きもみられます。また、他社での「レジオネラ属菌」による死亡事故や「減圧室」の故障による死亡事故の発生、燃料費や人件費をはじめとする諸コストの高騰による閉店増などのイメージダウンに加え、週末の台風やゲリラ豪雨の影響による客足減など厳しい経営環境が続いております。まさに、それらの課題やお客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力が求められております。

このような状況の中、当社におきましては、売上高5,588百万円（前年同期比15.9%増）となりました。損益面につきましては、国内は回復途上にあるものの引き続き厳しい状況が続いている一方で、中国（海外）が大きく貢献した結果、営業損失93百万円（前年同期営業損失123百万円）、経常損失137百万円（前年同期経常損失59百万円）、四半期純損失100百万円（前年同期四半期純損失13百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高4,804百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント損失（営業損失）は139百万円（前年同期セグメント利益139百万円）となりました。

当社の業績は、お盆や年末年始の休暇等の家族や人が集まる機会や天候及び気温等に影響される傾向があり季節的な変動があります。

第2四半期（7月～9月）については、上記の季節的要因から通期でみると収益は比較的獲得できる時期ではありますが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動に加え週末の台風やゲリラ豪雨による来店客数の減少が影響し既存店の売上高は減少しました。一方、新店（水戸店、RAKU SPA鶴見）がオープンしたことでトータルの売上高は増加しました。また、セグメント損失（営業損失）は、来店客数の減少をお客様単価の上昇や付帯サービス利用でカバーするまでに至らなかったことに加え、前年同期に比べ水道光熱費が上昇したことや新店の出店費用を計上したこともあり、第2四半期の累計期間（4月～9月）はセグメント損失が139百万円となりました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高797百万円（前年同期比167.5%増）、セグメント利益（営業利益）は128百万円（前年同期セグメント損失168百万円）となりました。

中国における業績も国内と同様に季節的な変動があり、第2四半期（4月～6月）は通期でみると業績は比較的厳しい時期と言えます。しかし、当期は上海（中国）における極楽湯ブランドが浸透している中で積極的に営業できたため、厳しい時期にも関わらず前期に比べ赤字幅は減少しました。その結果、第2四半期の累計期間（1月～6月）では、特に春節（旧正月である2月上旬）期間の業績が好調であったことに加え、収益計上期間が6ヶ月（前年同期は約5ヶ月）とフルに寄与したため、売上、利益ともに大幅に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,017百万円増加し14,926百万円となりました。これは主に、新店の出店により有形固定資産が1,053百万円増加したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し9,752百万円となりました。これは主に、新店の工事完成による建築代金の支払いにより未払金が535百万円減少した一方で、前連結会計期間末に締結したシンジケート・ローンを実行し長期借入金が増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ961百万円増加し5,174百万円となりました。これは主に、9月に香港子会社の持分を一部売却（49%）したことにより少数株主持分が899百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、28.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月に中国における事業展開の統括を目的に極楽湯中国控股有限公司(香港)を設立しました。その結果、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868,094	3,651,238
売掛金	108,104	107,285
未収入金	11,359	15,571
たな卸資産	40,382	72,329
繰延税金資産	49,265	44,334
その他	213,816	269,783
流動資産合計	4,291,021	4,160,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,459,495	7,872,668
工具、器具及び備品(純額)	279,076	394,841
リース資産(純額)	4,602	2,960
土地	182,051	182,051
建設仮勘定	1,488,540	15,172
有形固定資産合計	7,413,766	8,467,694
無形固定資産		
その他	208,347	230,933
無形固定資産合計	208,347	230,933
投資その他の資産		
投資有価証券	28,950	28,825
長期貸付金	94,248	86,210
繰延税金資産	523,559	458,941
敷金及び保証金	792,844	860,664
その他	560,570	637,154
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	1,995,672	2,067,296
固定資産合計	9,617,787	10,765,924
資産合計	13,908,808	14,926,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	307,243	268,602
短期借入金	-	100,000
1年内償還予定の社債	115,800	115,800
1年内返済予定の長期借入金	2,020,828	2,134,548
未払金	868,053	332,785
未払法人税等	39,307	27,403
前受金	810,605	723,042
賞与引当金	52,609	59,292
その他	316,523	345,668
流動負債合計	4,530,971	4,107,142
固定負債		
社債	342,900	285,000
長期借入金	4,091,248	4,476,544
退職給付に係る負債	88,490	93,668
資産除去債務	358,962	456,176
その他	283,035	333,664
固定負債合計	5,164,636	5,645,052
負債合計	9,695,607	9,752,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,061,053	2,291,118
資本剰余金	2,171,953	2,337,156
利益剰余金	△67,278	△167,318
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	3,809,590	4,104,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△999	△1,124
為替換算調整勘定	308,966	120,013
その他の包括利益累計額合計	307,967	118,888
新株予約権	95,643	50,955
少数株主持分	-	899,610
純資産合計	4,213,201	5,174,272
負債純資産合計	13,908,808	14,926,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,821,688	5,588,579
売上原価	4,549,446	5,189,736
売上総利益	272,241	398,842
販売費及び一般管理費	395,304	492,575
営業損失(△)	△123,063	△93,732
営業外収益		
受取利息	5,303	8,462
受取家賃	9,514	9,446
為替差益	56,688	-
協賛金収入	15,047	18,518
その他	14,418	17,110
営業外収益合計	100,973	53,538
営業外費用		
支払利息	31,227	49,148
為替差損	-	38,376
その他	6,537	9,585
営業外費用合計	37,764	97,110
経常損失(△)	△59,854	△137,305
特別利益		
新株予約権戻入益	81,356	4,658
子会社株式売却益	-	147,920
その他	29	-
特別利益合計	81,386	152,579
特別損失		
固定資産除却損	6,938	1,186
その他	48	-
特別損失合計	6,986	1,186
税金等調整前四半期純利益	14,545	14,087
法人税、住民税及び事業税	33,474	45,547
法人税等調整額	△5,854	68,580
法人税等合計	27,619	114,127
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△13,074	△100,040
四半期純損失(△)	△13,074	△100,040

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△13,074	△100,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,845	△125
為替換算調整勘定	157,503	△188,953
その他の包括利益合計	159,349	△189,078
四半期包括利益	146,275	△289,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,275	△289,118
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,545	14,087
減価償却費	330,985	373,490
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,719	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	5,177
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,423	6,759
受取利息及び受取配当金	△5,303	△9,547
子会社株式売却損益(△は益)	-	△147,920
新株予約権戻入益	△81,356	△4,658
支払利息及び社債利息	33,556	53,106
為替差損益(△は益)	△111,587	34,554
固定資産除売却損益(△は益)	6,938	1,186
売上債権の増減額(△は増加)	12,894	△76,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,140	△32,613
未払消費税等の増減額(△は減少)	△108,740	64,514
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,295	△35,687
建設協力金の賃料相殺	14,658	15,324
その他	△47,896	△25,273
小計	50,400	235,854
利息及び配当金の受取額	2,101	6,545
利息の支払額	△36,414	△49,968
法人税等の支払額	△181,938	△36,078
法人税等の還付額	-	66,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	△165,850	222,885
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△67,000	△341,798
定期預金の払戻による収入	64,000	259,408
有形固定資産の取得による支出	△646,997	△2,040,395
投資有価証券の売却等による収入	48,980	-
差入保証金の差入による支出	-	△70,537
差入保証金の回収による収入	53,461	752
貸付けによる支出	-	△352,026
貸付金の回収による収入	7,869	360,064
建設協力金の支払による支出	-	△67,321
建設協力金の回収による収入	5,775	5,775
子会社株式の売却による収入	-	933,215
その他	△10,577	△18,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△544,488	△1,331,512

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	100,000
社債の発行による収入	341,333	-
社債の償還による支出	△67,400	△57,900
長期借入れによる収入	3,710,000	1,550,000
長期借入金の返済による支出	△1,002,100	△1,050,984
株式の発行による収入	19,389	411,084
配当金の支払額	△57,457	△64,600
その他	△31,124	△58,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,412,640	828,946
現金及び現金同等物に係る換算差額	60,515	△15,834
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,762,816	△295,516
現金及び現金同等物の期首残高	2,087,834	3,815,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,850,651	3,519,577

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第2四半期連結累計期間において資本金が230百万円、資本剰余金が230百万円、それぞれ増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は2,291百万円、資本剰余金は2,337百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,523,695	297,992	4,821,688	—	4,821,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,523,695	297,992	4,821,688	—	4,821,688
セグメント利益又は損失 (△)	139,519	△168,260	△28,741	△94,322	△123,063

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,322千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成25年1月1日から平成25年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,791,507	797,072	5,588,579	—	5,588,579
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,201	—	13,201	△13,201	—
計	4,804,708	797,072	5,601,780	△13,201	5,588,579
セグメント利益又は損失 (△)	△139,108	128,717	△10,390	△83,342	△93,732

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去10,705千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,047千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第2四半期連結累計期間には、平成26年1月1日から平成26年6月30日までの業績が反映されております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間からセグメント利益又は損失の調整額に含める全社費用項目の見直しを行っております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示したセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。